

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 外来診療医担当表

	月		火		水		木		金		
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
総合診療	1診	外科 櫻井 外科 佐々木 [不定期]	外科 櫻井		外科 佐々木 [不定期]	外科 櫻井	外科 櫻井				
	予約診1	内科(循環器) 有田	内科(呼吸器) 上谷		内科(肝臓) 佐藤				内科(神経) 石口		
	予約診2	内科(肝臓) 佐藤	内科(糖尿) 小河		内科(肝臓) 田中寛	内科(呼吸器) 上谷			内科(糖尿) 小河		
	新患診1	内科 交替制	内科 有田		内科 交替制		内科 交替制		内科 交替制		
	新患診2	内科 交替制	内科 交替制		内科 交替制	脳疾患・救急 加藤 [1-3週]	内科 交替制		脳疾患・救急 上野 [1-3週]	内科 交替制	
脊椎ケアセンター	5診	脳神経外科 田中禎	脳神経外科 大賀		脳神経外科 田中禎		脳神経外科 大賀		脳神経外科 田中禎		
	7診	脊椎 川上 センター長	脊椎 川上 センター長						脊椎 川上 センター長		
	8診	整形外科 宮本	整形外科 中尾		整形外科 中尾	整形外科 宮本		整形外科 宮本			
眼科	山中	手術		山中		田中オ		田中オ			
小児科	飯塚 【午後1時まで】	辻			末永	島		飯塚 【午後2時から脳波】			
リハビリテーション科	隅谷	隅谷		隅谷		隅谷		隅谷			
麻酔科	堂城					堂城		堂城			

※当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。平成25年1月1日現在
 ※眼 科：コンタクトレンズ外来は第2・4月曜日の午前10時～10時30分
 ※外 科：佐々木医師の診察は不定期となるため、事前にお問い合わせください。
 ※担当医が変更になることがありますので、事前にお問い合わせください

紀北分院 予約センターTEL：0736-22-4600 (受付時間 月～金曜日 8時45分～15時)

看護専門外来のお知らせ

紀北分院では、専門的な資格や知識をもった認定看護師、糖尿病療養指導士による看護専門外来を開設しています。

認定看護師等がその専門性を生かし、医師との連携を図りながら、患者さんからの相談を受け、必要な指導、アドバイスを行います。

ご利用方法・費用については、外来看護師、もしくは総合案内受付におたずねください。

項目	月	火	水	木	金	
	午前	午前	午前	午前	午前	午後
項目	高血圧	フットケア 糖尿病療養 指導	緩和ケア	認知症につ いての相談	フットケア 糖尿病療養 指導	脊椎ケア
担当者	外来看護師	糖尿病療養 指導士	緩和ケア チーム	認知症支援 看護師	糖尿病療養 指導士	院内認定 脊椎ケア 看護師

お知らせ

- ・平成24年12月に財団法人日本医療機能評価機構の「病院機能評価 Ver.6.0」を認定取得しました。
- ・平成25年1月に内科 田中寛人講師が着任しました。
- ・次回の紀北分院通信「あじさい」春号の発行は4月です。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 分院長 有田 幹雄

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219 TEL 0736-22-0066 FAX 0736-22-2579
 ホームページアドレス <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>
 2013年1月発行



和歌山県立医科大学附属病院紀北分院通信



あじさい



世界文化遺産 丹生都比売神社

理念

私たちは地域に密着した医療が実践できる質の高い医療人を育成し、安全で安心いただける医療を提供して、地域の保健医療の発展に貢献します。

基本方針

- 1 患者さんに信頼され、安全で心のこもった医療を行います。
- 2 豊かな人間性と専門的な知識と技術を備えた医療人を育成します。
- 3 地域に密着し、地域のニーズに応える医療機関を目指します。
- 4 近代的で最新の知識・技術を活用した医療を行い、地域の中核的医療機関としての使命を果たします。
- 5 地域の保健・医療・介護・福祉施設や行政と連携し、地域の人々の健康作り貢献します。

患者さんの権利

- 当院では、受診される皆様、以下の権利を有することを確認し、尊重します。
- 1 個人として、尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
 - 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
 - 3 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
 - 4 他の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
 - 5 個人情報やプライバシーを守られる権利があります。

掲載内容

- ・年頭のご挨拶
- ・新任ドクターの挨拶
- ・手術室・中央材料室の紹介
- ・「脳梗塞予防と発症時の対応について」
- ・「旬をいただく」美味しいレシピ
- ・外来診療医担当表
- ・看護専門外来のお知らせ

年頭のご挨拶

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院長 有田 幹雄



分院長 有田 幹雄

新年明けましておめでとうございます。皆様にとっても、紀北分院にとっても今年が素晴らしい年であることを願っております。新しい年の初めに当たり、今年の紀北分院の目指す方向を記したいと思います。

1. 地域に根ざし、地域の人々から真に信頼される病院を目指します。
2. 24時間、365日、地域の人々の命を守るため、「断らない医療」をおこないます。
3. 生活習慣病の予知・予防をおこない、地域の人々の健康づくりに貢献します。
4. 様々な困難に直面しても、質の高い医療や「心の琴線に触れるような」気配りを提供します。
5. 和歌山県内で最も良質の医療を提供する病院を目指します。

このような、目標を掲げて今年1年、地域の人々に感謝の気持ちを忘れず、毎日が「真剣勝負」の心意気で頑張っていきたいと思っております。伊都・かつらぎ地域での紀北分院の存在意義が認められ、働く人々にとっても誇りを持てるような病院になるように努力して参りたいと考えております。どうぞご支援をよろしくお願いたします。

外来診察日
予約診：月曜日 新患診：火曜日
専門分野
循環器・スポーツ医学

新任ドクターの挨拶



眼科 准教授
山中 修

外来診察日
月曜日、水曜日（午前）

2012年10月より眼科に赴任いたしました。

それ以前は和歌山県立医科大学附属病院眼科で、白内障をはじめ、緑内障や網膜疾患など眼科全般の診察、治療に従事していました。特に緑内障に関しては専門外来を担当し、緑内障手術の術後管理に関した研究にも取り組んでいました。2008年から4年間はアメリカで角膜の研究に取り組み、この度紀北分院に着任いたしました。病院は新しくなり外来も手術室も綺麗で、以前の紀北分院のイメージは全く驚きました。

白内障、緑内障は代表的な眼科の病気です。これらの病気は年とともに発症する可能性が高くなります。緑内障は見える範囲（視野）が徐々に減少していく病気、早期発見、早期治療が重要です。白内障は手術により視力回復が見込める病気ですが、緑内障は一旦病気が進行すると、失った視野を手術やお薬で回復することは不可能です。この点でいかに早く病気を見つけたかが大事になってきます。当院では緑内障の早期発見にも力を注ぎ、対応していきたいと考えています。紀北地域の皆様の目の健康維持に役に立てるよう努力して参りたいと考えております。

10月から麻酔科の新任医師として赴任しました。これまで様々な病院で働いてきましたが、麻酔科常勤医が自分一人という環境は今回が初めてで、少し緊張しております。

紀北分院に着任してまず、病院が大変綺麗であることに驚きました。患者さん方にはあまり目立たない手術室の中まで、きちんと整備されています。新築して間もないこともありますが、何よりも病院スタッフの心意気を感じて、私も気持ちの引き締まる思いです。

麻酔科医の使命は、手術室の番人です。手術を受けられる患者さんと、円滑に手術が行われる環境を守ります。当院の手術室には、整った設備とよく教育されたスタッフがいます。ここで麻酔に従事できることを誇りに思いますし、責任も感じています。患者さん方は多くの不安や緊張を抱えて手術室に入って来られると思うのですが、安心して任せてもらえるような手術室を運営して行く所存です。よろしくお願いたします。



麻酔科 助教
堂城 真友子

手術室・中央材料室の紹介

手術室・中央材料室 副主査看護師
三宅 祐子

手術室ってどんな印象がありますか？

「手術」という、なかなか良いイメージを思い浮かべ方は少ないのではないのでしょうか？「どのくらい痛いんだろう？」「麻酔が効かなかっから、途中で切れたらはいしないのかな？」と、不安というよりも怖い……。あるいは、初めてだから分らない……。

手術を受けるということは、患者さんやご家族にとって未知で不安なものです。手術室看護師は、そのような漠然とした不安を理解し、安心して手術が受けられるように、手術前や手術後の訪問を実施して、良好な信頼関係を築くための努力をしています。

手術前の訪問では、手術室に入ってからの様子をお伝えし、患者さんやご家族からの質問にお答えします。

手術室に入った後は、少しでもリラックスできるように声をかけたり、音楽を流しています。また、担当の医師も「○○さん、がんばりましょうね。」と声をかけてくれます。手術中、看護師は常に患者さんのそばにいます。

手術後の訪問では、手術を受けた際に気づいたことや苦痛に思われたこと、傷の痛みなどについて伺います。患者さんの声を大切にして、手術室看護に活かしています。手術室では、担当する看護師だけでなく、医師に器械を渡す看護師、使用した器械を洗い滅菌するスタッフなど9名で協力し合い、安全と安心が提供できるよう、なおかつ円滑に手術が行われるように心掛けています。

手術室の看護師は、比較的ゆとりと患者さんと話す時間があります。「仕事をとめては悪いな。」「この話は手術と関係ないな。」と思わずに、色々な話をしましょう。

手術室では、音楽を流し、患者さんがリラックスできるように配慮しています。
♪手術中にお聞きになりたい音楽がございましたら、手術室スタッフにお知らせ下さい♪



「脳梗塞 予防と発症時の対応について」

脳梗塞は、脳の動脈という血管が詰まることで脳の神経細胞に酸素や栄養が行きわたらなくなり、身体の運動麻痺やしびれなどの感覚障害、言葉がしゃべりづらくなったりします。

脳細胞は非常に弱い細胞で、短時間でも酸素や栄養がたたれとすぐに障害が出てしまいます。さらにやっかいなのが脳細胞は再生しないということです。一度壊れると脳細胞は二度と再生しません。

そこで大事なのが、脳梗塞の予防と発症後の対応です。

予防については、メタボリック対策、つまり高血圧、高脂血症、糖尿病の予防が重要です。減塩食を含めた食事療法、適度な運動や禁煙、そして薬での治療も必要に応じて行います。

しかし、日常生活に気をつけていても脳梗塞は発症することがあります。

そこで重要なのが発症した場合の対処方法です。先ほども書いたとおり、脳細胞は非常に繊細で壊れやすいため、栄養血管が詰まった場合は詰まった血管を開通させる治療が最善です。それも可能な限り早く開通させる必要があります。そのため、症状が出現した場合はすぐに救急隊（119）に連絡し、対応可能な医療機関に迅速に搬送してもらする必要があります。何かおかしいと感じたらためらわず救急に連絡してください。一晩寝れば治ると考える方も多くおられますが、そういう考えは禁物です。可能な限り早く対応可能な医療機関を受診することが、脳梗塞後遺症を最小限にする唯一の方法です。

現在、紀北分院でも脳卒中救急を充実させており、脳梗塞発症から4時間30分以内なら詰まったものを溶かす点滴治療が可能です。異常を感じたらすぐに救急への連絡をお願いします。



神経内科
石口 宏

外来診察日
金曜日

『旬をいただく』 美味しいレシピ

(冬レシピ)

酒粕入り根菜味噌汁



新春を迎えましたが、まだまだ厳しい寒さが続いています。

体を温めるのに、酒粕入り根菜味噌汁はいかがですか。具だくさんにし、汁を少なくすることで摂取塩分を少なくし、脱脂粉乳を入れることでまろやかな味になり、牛乳嫌いの方でも気になりません。また、東洋医学では、体を温める食品「陽性食品」と体を冷やす食品「陰性食品」に分類しています。陽性食品には根菜類(人参、大根、芋等)や発酵食品、塩などがあり、陰性食品は生の葉物野菜(レタス、キャベツ等)や砂糖などがあると言われています。これらの野菜を上手く使って、冬場の健康管理を行って下さい。

<材料> 1人前

大根30g、人参30g、里芋45g、酒粕20g、あわせ味噌8g、脱脂粉乳10g、だし汁120g、

青葱2g

<作り方>

大根、人参をちょう切りにする。里芋は皮をむいておく。酒粕はほぐし、ぬるま湯を注ぎ10分ほど置いてから、あわせ味噌と脱脂粉乳を加え混ぜておく。だし汁に切った大根、人参、里芋を入れ煮立てる。酒粕・あわせ味噌・脱脂粉乳を混ぜたものを加え、溶かす。青葱を加える。

<栄養量>

エネルギー:133kcal 蛋白質:8.7g 脂質量:1.0g 炭水化物量:22.2g 塩分:1.1g

カルシウム:144mg



管理栄養士 笹野 馨代